



令和8年3月定例議会一般質問抜粋



「ゴミ屋敷問題」について質問しました

この問題は、これから社会の中でとても大切になるテーマです。内容をまとめてご報告致します。

【ゴミ屋敷とは】

家の中や周りに物やゴミがたまりすぎて、生活がうまくできなくなったり、近くの人にも影響が出てしまう状態のことです。

【なぜ起きるのか】

ゴミ屋敷は「だらしない」からではありません。背景には

- ・ひとりで孤立している
- ・心や体の不調
- ・生活の困りごと
- ・大切なものを手放せない気持ち



などがあります。

▶ いろいろな理由が重なって起きる問題です。

《津山市のゴミ屋敷の現状》

市の調査では

- ・42世帯で発生
- ・26件は衛生的に問題あり
- ・11件は特に深刻

世帯の特徴

- ・高齢者世帯 → 20件
- ・単身高齢者 → 11件
- ・子育て世帯 → 5件

▶ 高齢者や一人暮らしが多い傾向です。



【現場で感じたこと】

実際に「動物の多頭飼育」と「ゴミ屋敷」が重なった現場で清掃活動に参加しました。



- ・高齢の一人暮らし
- ・自分では片付けられない状態
- ・ボランティアが支えている

▶ 行政だけでは対応しきれない現実があります。

▶ 社会で支える必要を強く感じました。

《これからの津山市》

- ・相談できる窓口を設置
- ・専門の人が訪問して支援

▶ 福祉の視点で支える取り組みが始まります。



【この問題の本質】

- ▶ 「環境問題」ではなく
- ▶ 「人の尊厳の問題」です

この問題は、特別な人の話ではありません。

- ・誰でも孤立する可能性がある
- ・誰でも支える側になれる

社会は

▶ 「支え合い」で成り立っています。



《今の課題》

現在は

- ・現地確認
- ・改善のお願い

が中心ですが

▶ 根本的に解決した例はありません。

《他の自治体の取り組み》

- ・専門の人が関わる
- ・地域で見守る
- ・ルール(条例)をつくる

などの取り組みで改善している例があります。

【私の提案】

今後に向けて

- ・福祉中心の支援体制の明確化
- ・関係機関連携の強化
- ・条例の整備

を求めました。

今後も議会においてこの問題に引き続き取り組んでいきます。

